

企業・サイト概要

- 提案企業: サラヤ株式会社
- 提案企業所在地: 大阪府大阪市
- サイト: ウガンダ国 エンテベ県病院、ゴンベ県病院、ジンジャ地域中核病院、ムラゴ国立病院(モデル4病院)
- 相手国実施機関: ウガンダ国保健省
- 事業実施期間: 2013年12月～2016年2月



合致

●●● ウガンダ国の開発課題 ●●●

●●● 提案企業の技術・製品 ●●●

病院の衛生環境改善

- ウガンダの5歳未満児の死亡要因の多くは保健・医療分野における環境整備の不十分さにあることが指摘されており、保健サービスの向上は喫緊の最優先開発課題の一つである。
- ウガンダ保健省が定める医療器具の洗浄消毒ガイドラインは、医療器具の洗浄前に塩素系消毒剤に浸漬する「一次消毒」の実施を定めているが、適切な再生処理が行われていないため、十分な殺菌効果が得られていない可能性が高い。また、洗浄後の滅菌処理の実施条件が曖昧であり、モニタリングも実施されていない結果、医療器具自体の衛生管理は劣悪である。

医療従事者の人材育成

- 医療従事者の感染症対策に関する認識不足、マンパワー不足等から、ガイドラインに沿った医療器具の適切な再生処理が行われず、乳幼児を含む多くの患者が予防可能な院内感染に罹患する事例や、院内感染によるものと思われる死亡事故が多数報告されている。

国際標準の洗浄・消毒ができる全自動医療器具洗浄消毒器

- コンパクトな卓上型仕様で、使用済み医療器具をタイマーに再生処理することができる。
- 使用済み医療器具を挿入し洗剤をセットすれば、予め設定されたプログラムに基づき、予備洗い、洗浄、すすぎ、熱湯消毒の全行程を自動的に行うことができ、国際規格に準拠した熱湯消毒によりほとんどの細菌・ウイルスを死滅又は不活性化することが可能。ウガンダを含めた途上国で行われている一次消毒の工程を省き、洗浄消毒効果を向上することができる。

現地企業等とのパートナーシップによる継続的な人材育成支援

- 衛生関連製品の研究開発、販売から感染症や衛生管理に関する教育・啓発事業まで、一貫した体制を自社内に保有しており、現地への効果的な知識・ノウハウの移転が可能。
- 2011年よりウガンダに現地法人を設立し、製品のメンテナンスや洗剤の現地製造化、衛生インストラクターの育成にむけて、現地企業等と業務提携を進めており、継続的な事業実施・人材育成が可能。

提案企業の準備状況

- 2012年1月より「協力準備調査(BOPビジネス連携促進)」を通じて、ウガンダの病院における感染症対策の一助とするアルコール手指消毒剤を活用した衛生指導を進める中で、医療器具の適切な洗浄・消毒方法により院内感染の原因の一つを予防することの重要性が相手国実施機関に認識され、本製品へのニーズの高さが確認できた。
- ウガンダ保健省が定める現行の医療器具の洗浄消毒プロセスの有効性について確認すると共に、特定された事業実施地域における提案製品の実証とビジネスとしての事業性検証のために更なる働きかけが必要。



民間提案型普及・実証事業の内容 (JICA事業)

- ウガンダ保健省が定める現行の医療器具の洗浄消毒プロセスの有効性について検証する。
- 電気・水の供給状況が不安定な現地の環境に合わせて設計した製品の実証及び評価を行う。
- 病院関係者へ向けた製品の使用方法及び日常のメンテナンス指導及び現地企業と連携した製品メンテナンス、衛生インストラクターの育成を行う。
- 洗浄消毒器用洗剤の現地パイロット製造及びパフォーマンスの確認を行う。
- ウガンダの医療従事者の能力向上を目指し、AKDN (AgaKhan Development Network) 及び大学と連携した感染管理教育コースの設計を行う。
- 東アフリカ全土から広く関係者を招聘し、「東アフリカ感染管理会議」を開催し、製品の重要性について啓発を行う。



ビジネス展開

- 製品の販売のみならず、現地企業との業務提携に基づく、メンテナンス要員の育成・派遣によるメンテナンスサービスや洗浄消毒器用洗剤の現地製造・販売を含めた包括的なビジネスモデルを他地域・周辺国へ展開する。

